

富士山麓の 新たな旅づくり ワークショップ

開催趣旨

「歩く旅」をみんなで作ろう！



富士箱根伊豆国立公園

箱根

富士山麓

伊豆半島

伊豆諸島



太平洋の島々から富士山をつなぐ一大火山群

- 火山地形と地域文化が作り出す多様な景色と風土 -

富士山麓の新たな旅づくりワークショップとは？

富士山麓は、豊かな自然や文化の宝庫



富士山麓の新たな旅づくりワークショップとは？

観光客は多く訪れているものの…

滞在が短い…

消費額が少ない…

2019（平成 31,令和元）年度		日本人		外国人	
		11 公園 平均	富士箱根伊豆 （富士山周辺）	11 公園 平均	富士箱根伊豆 （富士山周辺）
満足度	「大変満足」と回答した割合（％）	35.3	26.7	46.2	55.2
推奨意向	「必ず薦めたい」と回答した割合（％）	36.5	29.8	63.4	74.1
支出額	宿泊、飲食、交通、アクティビティ、他娯楽、 買い物、その他の合計額（円）	25,820	11,729	61,299	39,754
宿泊数	公園内に宿泊した泊数（泊）	1.8	1.5	3.3	1.8
リピーター率	2 回目以降の訪問者の割合（％）	61.9	80.9	14.7	21.7

出典：「令和元年度 国立公園満喫プロジェクト推進業務 報告書」（環境省）

富士山麓の新たな旅づくりワークショップとは？

観光客は多く訪れているものの…

<平均消費額>

アクティビティの利用が少ない

平均消費額 (円/人)		宿泊	飲食	交通	アクティビティ	その他娯楽サービス	買い物	その他	合計
阿寒摩周	外国人	30,324	12,224	5,616	3,256	2,091	9,492	5,632	68,633
	日本人	11,189	2,253	1,687	1,142	368	1,207	1,536	19,382
十和田八幡平	外国人	33,123	12,055	6,145	733	504	7,333	6,130	66,023
	日本人	10,168	3,091	5,495	940	406	2,342	1,064	23,505
日光	外国人	18,789	6,087	3,285	937	1,936	4,913	1,134	37,081
	日本人	12,188	3,173	3,594	676	767	2,178	345	22,921
伊勢志摩	外国人	33,319	18,590	6,175	4,391	5,105	14,170	8,878	90,629
	日本人	14,199	5,378	5,289	622	782	5,754	918	32,940
阿蘇くじゅう	外国人	12,950	13,516	4,095	1,778	1,698	7,357	1,016	42,409
	日本人	4,429	2,263	2,442	643	519	1,486	413	12,195
霧島錦江湾	外国人	27,583	23,091	8,331	2,629	2,426	27,669	3,807	95,537
	日本人	15,381	7,317	8,406	434	830	6,066	1,317	39,751
富士箱根伊豆 (一部)	外国人	12,786	5,138	3,773	573	1,997	9,698	5,789	39,754
	日本人	3,724	2,328	2,075	320	401	1,960	921	11,729

※ 質の指標に係る2019年度の調査結果（国立公園訪問者アンケート）より

富士山麓の新たな旅づくりワークショップとは？

富士山麓で目指したいこと

滞在が短い

長く滞在してもらおう！

アクティビティの
利用が少ない

地域を楽しみ・満足してもらおう！

消費額が少ない

お金を落としてもらおう！

せっかくの自然や文化の
豊かさが伝わっていない
・体験されていない

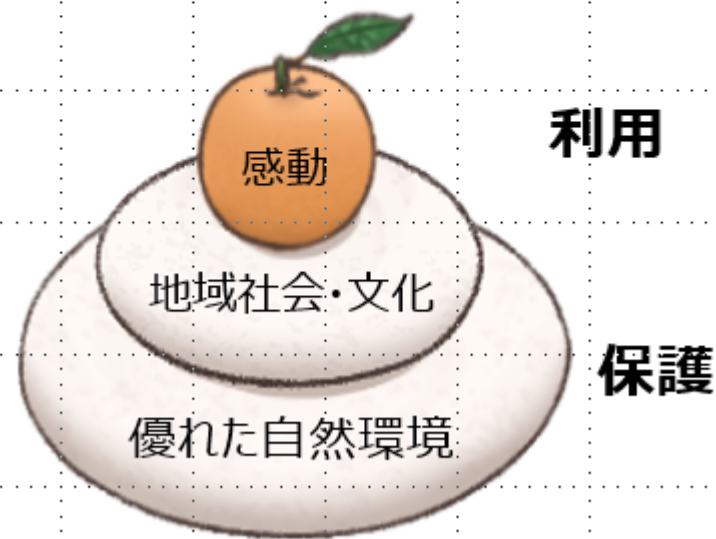
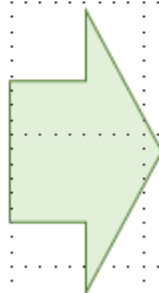
自然や歴史・文化の魅力
や価値を紹介し、地域と
来訪者を結びつける
ことが必要！

富士山麓の新たな旅づくりワークショップとは？

国立公園で目指す「保護と利用」

優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与する。

保護と利用



資源の消費だけでなく、
保護も同時に進めていく！

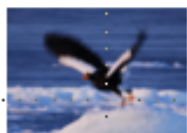
富士山麓の新たな旅づくりワークショップとは？

優れた自然を守りながら利用することで地域活性化を図ります

国立公園の保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図る

- ◆ 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現。
- ◆ 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。

国立公園を核とした
地域循環共生圏の実現



国立公園の優れた
自然環境

利用者の満足度↑
地域の価値↑
自然環境の保全↑

最大の魅力は
自然そのもの

守りたい
(保護)

感動と学び
(利用)

地域資源として
自然の価値向上

地域の産業の活性化
地域の持続的な発展

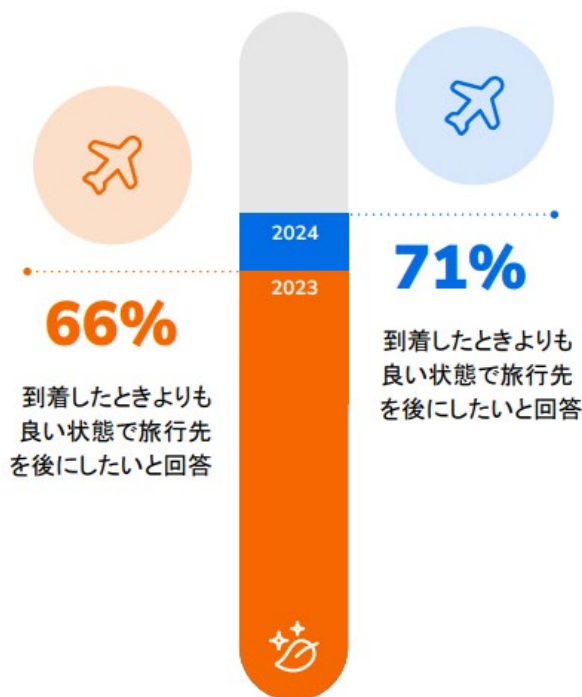


世界の旅行者が求めるネイチャーポジティブな旅行

持続可能な観光の新しい方向性

- サステナブルツーリズムに加えて、観光を通じて自然環境や生物多様性に積極的にプラスの影響を与えることが世界で求められています。

サステナブルな
旅行を後押しする
ポジティブな意識



ニュース アクティビティ ガイドインストラクター インスタグラム

「ネイチャーポ
ズム」

「タイプ（自然再興）」の
プログラム

（2000円税）



富士山麓の新たな旅づくりワークショップとは？

自然や歴史・文化の魅力や価値を深く知り、良い利用をしてもらうために
ワークショップを通して、

- ①まずは、自分たちで富士山麓の魅力や本当の価値を深掘りしよう！
- ②富士山麓の魅力や価値をお客様にどう伝えるかを考えよう！
- ③富士山麓の魅力や価値をまとめて、みんなで共有しよう！

作成

1回目	2回目	3回目
10/10 (木) 13:00～16:00	11/6 (水) 13:00～16:00	12/12 (木) 13:00～16:00
地域の魅力を みんなで深掘しよう！	訪れた人に どんな体験をして ほしいか考えよう！	わたしたちが伝えたい 地域の魅力を ストーリーにしよう！



今回の対象エリアについて

東海自然歩道でつながる富士山麓エリア

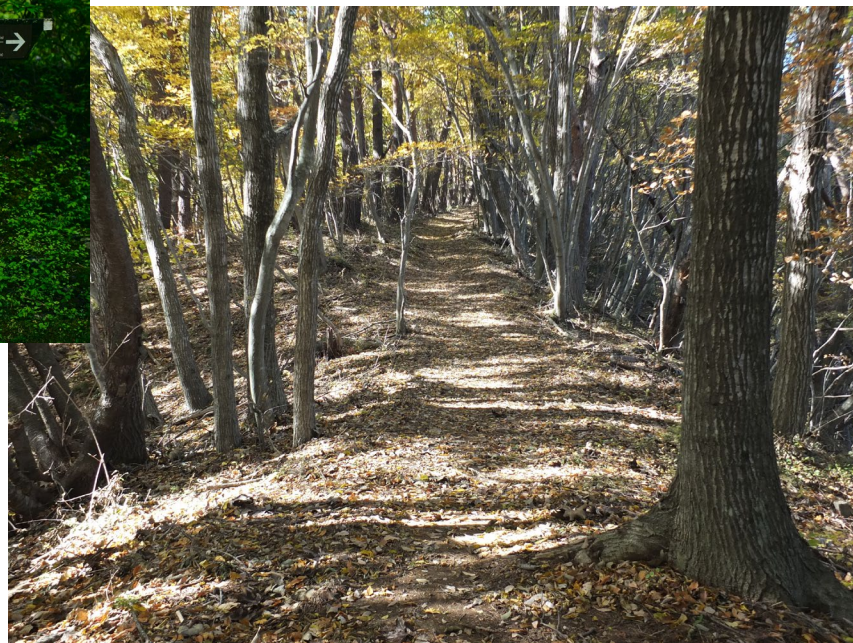
- 東海自然歩道は今年50周年を迎えます。
- 富士山麓も、山中湖から田貫湖にかけて「トレイル」が通っています。



トレイルとは？

「歩く旅」を楽しむために造られた道*1

- ロングトレイルは、登頂を目的とする登山とは異なり、登山道やハイキング道、自然散策路、里山のあぜ道、車道も歩きながら、その地域の自然や歴史、文化に触れる旅。欧米で発祥した文化。



トレイルとは？

「歩く旅」を楽しむために造られた道*1

- 日本でも、熊野古道や四国八十八ヶ所の遍路道など、「歩く旅」の文化は古くからありました。
- ロングトレイルは、健康や自然志向が高まるなかで、近年、注目が高まっています。

日本の主な 長距離自然歩道



日本の主な ローカルトレイル



日本の ヒストリカル トレイル



富士山麓でのトレイルに関する取組み

山中湖トレイルストーリーづくり

- 山中湖村の観光やトレイル等に携わる方々が参加しWS(3回)を開催しました。
- 地域の「想い」を言語化した「山中湖トレイルストーリー」を作成しました。

—— 山中湖村トレイルのコンセプト ——

山中湖村トレイルのコンセプト

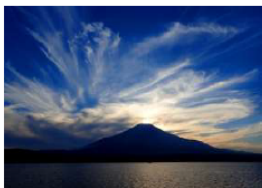
富士、巨石、湖、草原、野鳥
至高の景色
自然と人を未来へ繋ぐ「トレイル」

(解説)

- 『富士』：山中湖村から見える雄大な富士山
- 『巨石』：石割山八合目付近に鎮座する石割神社の御神体
- 『湖』：山中湖村に住む人が「湖」と呼ぶ山中湖
- 『草原』：入会組合による火入れで維持されてきたススキ草原
- 『野鳥』：多様な自然環境が生んだ日本有数の野鳥の生息地

これらのキーワードは全て山中湖村内のトレイル(登山道)から見ることで、季節や時間によって変わる至高の景色は、山中湖村に住む人々が日常的に見ることができる貴重な風景であり、観光客が山中湖村を訪れることで体験できる唯一無二の価値です。

そして、人々が山と暮らしてきた歴史や、生活の糧や遊び場となっていた自然を、これからも「トレイル」を通じて未来へと繋いでいきたい。そんなメッセージが込められたコンセプトとなっています。



富士



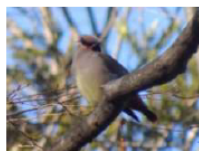
巨石



湖



草原



野鳥



富士山麓でのトレイルに関する取組み

トレイル整備体験(山中湖)

- 地域の人対象に石割山山頂までのトレイル整備体験を実施



石割山子どもプログラム(山中湖)

- 子どもを対象に山で遊ぶ&遊び場を守る整備体験を実施



筑波大学院 自然保護寄附講座 保護地域管理実習(山中湖)

- 大学院生を対象に保全や官民連携の取組の実習として、整備体験を実施

石割山あそび隊(山中湖):10月20日実施

- 子どもを対象に山で遊ぶ&遊び場を守る整備体験を実施



みんなで作ろう、みんながつかおう

「東海自然歩道でつながる富士山麓エリア」がもっと魅力的になり、ここにしかない質の高い体験ができ、お客様に満足してもらう。
地域(すべての関係者、自然や文化)にとっても、持続的な(消費型ではないが、地域経済にも貢献する)良い形で、お客様を迎え続けられるように。

2024年度

今後

1回目	2回目	3回目
10/10 (木) 13:00~16:00	11/6 (水) 13:00~16:00	12/12 (木) 13:00~16:00
地域の魅力を みんなで深掘しよう！	訪れた人に どんな体験をして ほしいか考えよう！	わたしたちが伝えたい 地域の魅力を ストーリーにしよう！



インタープリテーション全体計画は作成して終わりではなく、地域の中で更新し続けるものです。
また、みんなで作ったストーリーを使って、富士山麓の体験コンテンツを実際につくっていく(商品化)ことを目指します。

今後の開催予定

◎ご関心のある方に、ぜひお声がけください！
(2回目、3回目からのご参加も歓迎！)



地域の大切な資源を
整理

連絡事項

- ① ワークショップ開催結果について
 - 環境省HPで公開予定です。
(YouTube限定公開も活用します。)
 - 本日の写真やビデオも掲載しますので、
掲載不可の方はお知らせください。
- ② 今後のご連絡について
 - Googleフォームで頂いたメールアドレスより、
皆様宛にご連絡させていただきます。